

## つべつまち物語

NO. 46

**つべつまち物語～津別町移住定住サポートデスク in 活躍中**

地元新聞でたびたび活躍が記事になっている「津別町移住定住サポートデスク」を紹介します。

過疎化が進む津別町の将来の方向性が見えて来るのです。

この業務は「北海道つべつまちづくり株式会社」が津別町から委託を受け、ゲストハウス「ナンモナンモ」マネージャー兼コーディネーター都丸 雅子さんが受託している。

津別町には不動産業社が無いので家屋や土地の売買が不便だった事から、行政主導で「津別町空き家バンク」が設立された。

サポートデスクが空き家の情報や支援制度を提案する中で、代表的な好事例を紹介します。

さんさん館西側の津別町字東二条 3-3、一階がパン工房「るぱ」、二階が「㈱ 秋山工房」さんです。

秋山さん夫婦と町内を散策しながら物件を探していたら、外壁がクリーム色の丈夫な建築物が気に入り、即オーナーに交渉し、想定以内の価格と自分らのライフワークとが一致した事で成約になったのです。

奥さんがパン屋さんで、旦那さんは二階でパソコン関連の仕事場です。

移住、起業、子育てなど全てをコーディネーターした都丸さんは「嬉しいです。益々津別が元気になり、田舎は田舎の良さをアピールし、移住者の手助けをしたいです。」連絡先携帯電話 090-1521-1382。

写真はゲストハウス「ナンモナンモ」。「パン屋さんと㈱秋山工房」です。

